ボーリング柱状図

調　査　名	潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う地質調査等業務委託
事業・工事名	潮音山東地区　急傾斜地崩壊対策事業

ボーリングNo	4	2.523	B	

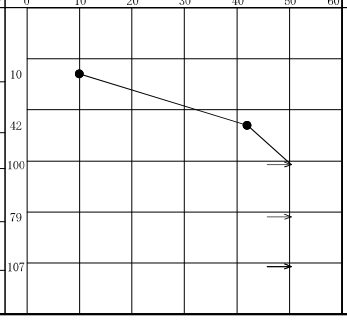
シートNo　1

ボーリング名	No.4+2.523 B	調査位置	尾道市瀬戸田町沢			北緯	34° 18' 22.12"
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			調査期間	令和 2年 6月 3日 ～ 2年 6月 3日	東経	133° 5' 18.47"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=18.53m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 40°	使用機種	試錐機	東邦D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	5.00m								エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	東邦BG-3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	17.53	1.00	1.00		表土・砂質土	褐			草木根が侵入する、土砂よりなる。	
2	15.53	2.00	3.00		花崗岩・風化土	赤褐			岩級区分のDL～DM級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、軽い指圧にてマサ状に崩れる。 雲母は強風化により黄金色化し、鉱物間の結束は中位である。 岩構造は一様に明瞭である。	
3 4 5	13.53	2.00	5.00		花崗岩・軟岩	赤褐			岩級区分のDH級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ状に崩れる。 風化により雲母は黄金色化しているが、鉱物間の結束は非常に密な状態にある。 岩構造は上層同様に明瞭である。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	5	10／30	10
1.45					
2.15	11	14	17	42／30	42
2.45	18	32／5		50／15	100
3.00					
3.15	17	33／9		50／19	79
4.00					
4.19	20	30／4		50／14	107
5.00					
5.14					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						6／3